

環境計画の方針

街のアクティビティに合わせた 三種のゾーニングプログラム

広場のマネージメント実現により、PUBLIC PARK には今までの公園にはなかった様々なアクティビティが集うことになります。今回の開発ではそういった多種多様のニーズに対応できて、休日などの混雑時にアクティビティが重ならないよう大きく3種のゾーニングを設定します。

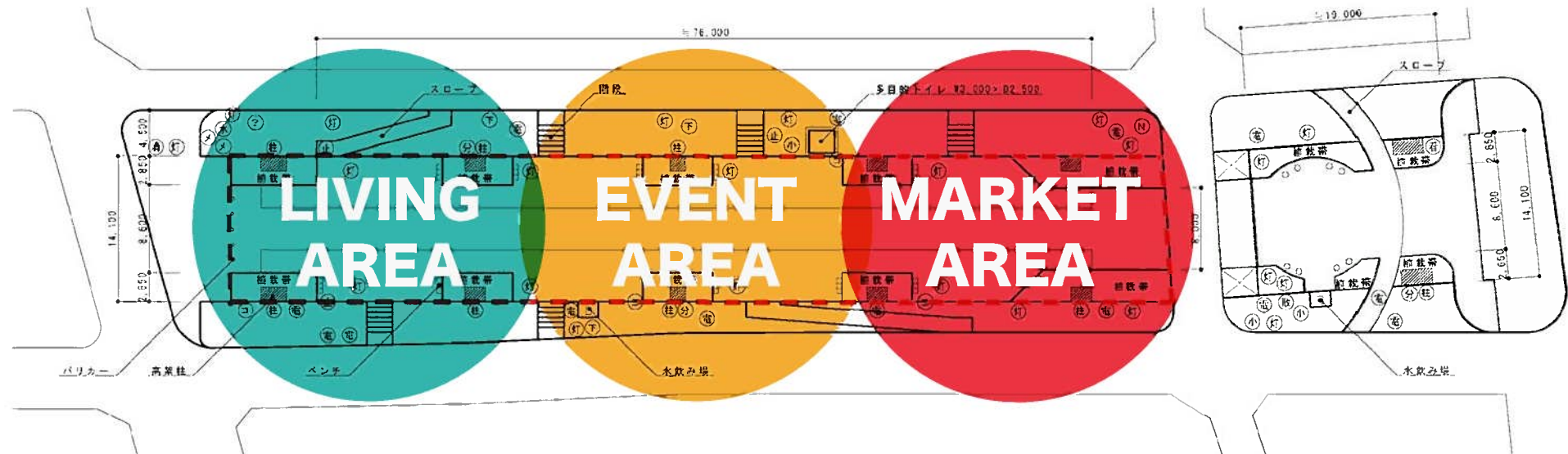
ひとつは街の賑わいをつなぐ市場や屋台を展開できるマーケットエリア。ふたつめはダンスレッスンや映像上映会、トークイベントなどの出来る設えをもつイベントエリア。そして最後はゆっくりと誰もがくつろげるスペースに特化したリビングエリア。

この3種のエリアを可变的に使い分け浜松市街地の新しい賑ごとの拠点を創出します。

「公共」の
新しい必需品



新しい時代の
賑わい
イノベーション
発信拠点



デザインやインフラを整備するだけでない

人に愛される環境づくり

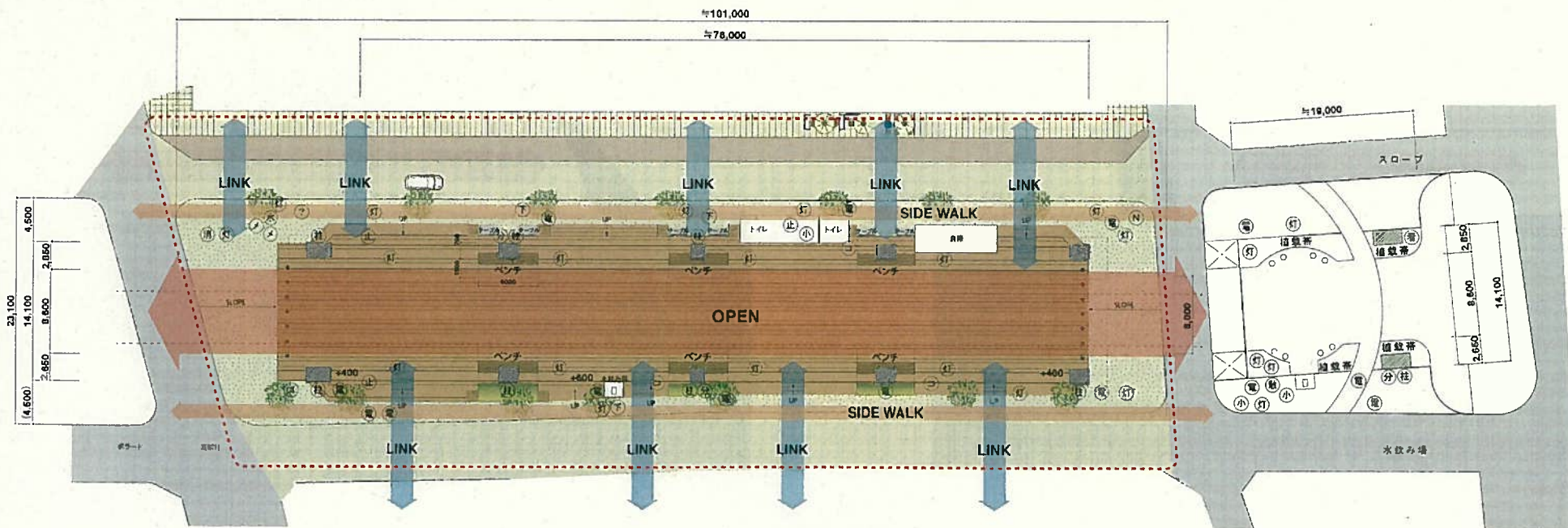
- ・安心、安全。
- ・歩きやすい。
- ・開放的で気持ち良い。
- ・留まりたい。

そのためには・・・

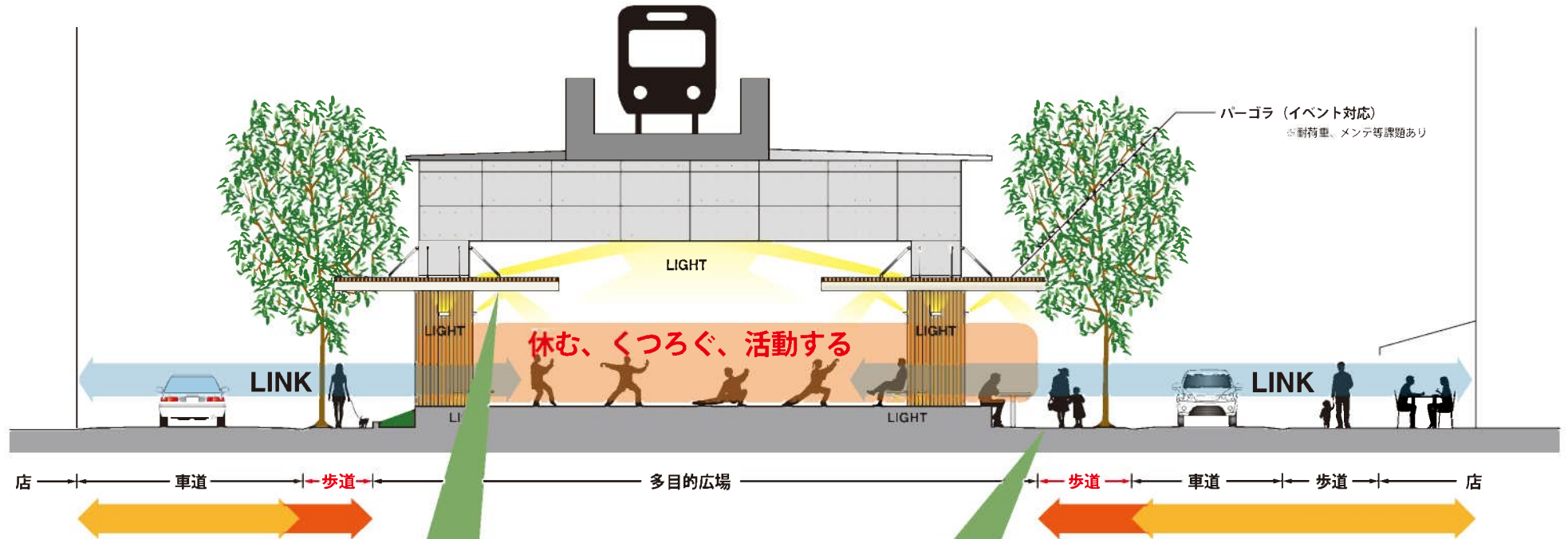
- ・道路との連続性を意識する。
- ・植栽を減らして空間を広げる。
- ・夜の環境を演出する。

だから・・・

- ・ペイメントの色合いや素材をを合わせる。
- ・サイドウォークを新設する。
- ・ベンチやテーブルを設置する。
- ・雰囲気のある照明で夜の街並みを整える。



環境の考え方 -2



エナジーパーゴラ

高架の柱には象徴的なルーフを取り付けルーフの下であらゆる賑わいが展開される場作りをおこないます。「エナジールーフ」と名づけたこの屋根は直射日光を遮る役割の他に照明を仕込んで暗くなりがちな高架下を、明るい空間へと変えていきますルーフの下にはマーケットや屋台の展開時に活躍する電源や上下水インフラを備えたBOXを設置し、あらゆる賑わいに対応出来る機能を持たせます。

サイドウォーク

新川モールと車道の間新しく歩道を創りだします。「SIDE WALK」と名づけたこの歩道的空間は、安全に街を歩ける機能と、パブリックパークと周囲の街を繋げる機能を果たします。パブリックパーク東側のサイドウォーク沿いには高低差を活かしてベンチとテーブルを設置し、会話を楽しむひと、読書をするひとパソコンで作業するひとなど、人々の気配がなるべく外へにじみ出るような空間づくりをおこないます。